

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・希望が丘南地区と希望が丘地区から成り立つ地域です。両地区とも地域の方々は積極的に地域活動に取り組み、課題について地域での課題として捉え、解決しようとする姿勢が根付いています。
- ・世代間同居や近距離に家族が居住している世帯も多く、子育て、介護等については家族間での協力体制が比較的多くあります。また、近隣の住民間での共助もなされており、顔の見える関係づくりを積極的に行っておられます。
- ・両地区においては丘陵地に住宅街があり、公共の交通機関が十分でなく、高齢世帯、日中の家族不在などの理由で日常的な買い物等の移動手段に不便を感じているという声が上がってきました。
- ・老人会などの既存の集いの場の担い手不足などにより、高齢者人口の伸びに反して、集いの場などの場所は減少傾向にあります。
- ・障害があっても地域社会に溶け込み、災害時においても安心して避難できるように日ごろからの関係の構築が必要とされています。
- ・地域ケアプラザが福祉活動の拠点となり、また総合相談窓口として広く地域住民に認知されるよう活動をしていきます。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・地域の身近な総合相談窓口として、高齢・子ども・障害問わずあらゆる方からの相談を受け、また業務や地域住民とのつながりの中で把握した情報を受け止め、適切な支援に繋がります。必要に応じて区役所や関係機関につなぎ連携して支援を行います。
- ・子どもの相談については、区の子ども家庭支援課の地区担当と連携し、障害の相談については、区の障害者支援担当のケースワーカーや旭区基幹相談支援センターと連携して支援を行います。
- ・地域の会議や関係機関の会議、ケアプラザ新聞を通じて、ケアプラザが身近な子育て・障害分野の相談窓口であることを広く周知します。
- ・相談の内容に応じて、福祉サービスやインフォーマルサービスの情報提供を行います。
- ・適切に支援につなげ、相談から抽出した課題に対して、課題解決につながるよう事業の実施を行います。
- ・職種、部門を限定しない幅広い「総合相談・支援」を実施し、5職種が連携し、情報共有を行います。
- ・障害分野の相談については、障害分野の研修に積極的に参加し、制度や様々な障害特性を理解し、あらゆる方の相談対応ができるよう努めます。

(2) 各事業の連携

- ・各部門が把握した課題に対して5職種会議を毎月行い、情報を共有し5職種連携して課題解決に向けた地域支援を行います。
- ・各部門で取り組む事業を確認しながら、地域への周知や運営の協力などに努め、課題や目標を共有し、共催にて事業を実施していきます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・横浜市の配置基準を満たす適正な人員配置をいたします。
- ・ケアプラザ内で内部研修計画を立て、個人情報保護、人権擁護、ハラスメントの内容を盛り込み職員の資質向上と職場環境の向上に努めます。
- ・職員は外部研修に積極的に参加し、自らの資質向上に努めます。また研修報告はプラザ内で共有します。
- ・利用者に情報を提供する際には、利用者の選択が可能な形で、情報の提供と提案をいたします。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ケアプラザエリアにある3つの地域防災拠点の委員の方を対象に、南希 CP エリア地域防災拠点連絡協議会を開催し、障害児者受け入れについての勉強会や具体的な取り組みについて検討を行い、災害時の対応に向けたネットワークの構築を図ります。
- ・希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を通じて、両地区間のさらなるネットワークの構築と保護者の方のネットワークの構築に努めます。
- ・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築に努めます。各団体や事業所との情報交換を積極的にかつ継続的にを行い、課題の共有を行い、地域での課題解決に向けたネットワークの強化を行います。また区内の高等学校と事業所との顔の見える関係づくりにケアプラザが積極的に関わり、地域での障害福祉のネットワークづくりに取り組みます。
- ・つながろうプロジェクト南希 CP エリア地域連絡会を今年度も開催し、地域の障害事業所と地域とのネットワークの強化に努めます。
- ・きぼうタウンプロジェクトを今年度も引き続き行い、認知症の当事者や家族が地域で孤立しないよう、地域住民同士、地域住民と介護事業所等とのつながりをさらに深め、地域全体で認知症について考えることができるようなネットワークの強化に努めます。
- ・買い物や移動困難などの地域課題に関し、地域住民だけでなく、事業所や商店会の方たちとも話し合いができるような場を設け、課題解決に向けたネットワークの構築に努めます。
- ・みんなの集いの場では、連合や自治会を超えた地域住民同士、ボランティア団体同士の更なるネットワークの強化に努めます。

(5) 区行政との協働

- ・子育て支援事業において、区こども家庭支援課や福祉保健課健康づくり係等と連携し協働して子育て支援に努めます。
- ・支えあい連絡会では、支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し地域課題の把握や情報提供に努め、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働して取り組みます。
- ・障害者支援において、担当の区ケースワーカーと情報共有を行い連携して個別支援を行います。
- ・高齢者支援において、担当区ケースワーカー・保健師と情報共有を行い連携して個

別支援を行います。

・生活支援体制整備事業においては区高齢・障害支援課地域包括ケア推進担当と旭区社会福祉協議会の第1層生活支援コーディネーターと情報共有を行い、連携して事業を推進します。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～を今年度より毎月開催とし、地域の子どもの居場所支援・学習支援・孤食支援を行います。また、長期休暇時の日中にも開催し、地域の子どもたちの長期休暇の居場所支援、食事の支援、宿題の支援を行います。

・子育てサロン mam・mam のほか、親子のフリースペースを毎月第3月曜日の午前中に開催し、子育て世代への支援とケアプラザの機能の周知に努めます。

・精神障害やこころの病のある女性を対象にしたスイートピーくらぶを今年度より開催し、当事者の交流を目的としたサロンのほか、お惣菜や冷凍食品を活用しアレンジした簡単なクッキング教室や、ヨガなどの軽運動のプログラムを参加者の生活課題やニーズに合わせて実施します。

・平成27年度まで自主事業として行っていた障害児余暇支援事業さわやかクローバークラブを今年度よりまた新たに行います。成人の障害のある方も対象とし、障害種別を問わず広く参加していただけるよう事業を実施します。また地域活動ホームサポートセンター連と連携をして、共催で夏休み期間の余暇支援事業を実施します。

・夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方々の居場所支援、中学生や高校生の学習する場や居場所支援としてみんなのフリースペースを月4回開催します。

・地区の第3期地域福祉保健計画の推進の一環として行っている障害児者支援事業「きぼうファーム」の事業の後方支援を行います。またきぼうファームで行っていた障害理解講座を今年度よりケアプラザの自主事業として開催し、きぼうファームの取り組みと連携して行っていきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・福祉保健活動団体に対して、活動する場の提供を行います。

・登録団体説明会や年末大掃除会の中で、ケアプラザ利用に対する率直なご意見を伺う時間を設け、福祉保健活動団体等からいただいたご意見やご要望については、所内会議で検討し、よりご利用しやすい環境整備と適切な管理に努めます。

・緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を行い、緊急時の対応について周知を行います。

・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行います。

・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、ケアプラザの自主事業でのボランティア活動や地域活動につながるよう情報提供を行い、活動の場のコーディネートを行います。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動につながるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めます。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行います。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア育成に努めます。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を行い、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行います。
- ・旭区ボランティアセンターと連携をし、ボランティア希望者への活動のコーディネートを行います。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努め、5職種で情報の共有を図り、必要に応じて支援チーム会議等に情報提供を行います。
- ・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、情報提供を行います。
- ・ケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザでの事業などの周知活動に努めます。
- ・地域課題解決のための情報提供を行います。
- ・施設利用団体の活動紹介を掲示し広く情報提供を行います。また登録団体説明会や年末大掃除会の中で、利用団体の交流会を行い、情報交換や交流の場を設けます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・きぼうタウンプロジェクトでは引き続き、2か所のカフェ運営の支援を行っていきます。今年度は地域への認知症についての啓発を深めるため、ケアプラザの事業「認知症サポーター養成講座」と連携し、きぼうタウンプロジェクトの取り組みの話を交え、サポーターの受け入れ先にもなれるような活動も行っていきます。
- ・みんなの集いの場（仮）は引き続き運営を行い、自主活動となるよう支援を行っていきます。今年度から2か月に1度「音楽る」の歌の時間を作って行きます。
- ・ミュージックボランティア「音楽る」は引き続き、活動団体の支援と個別支援にも力を入れ、地域のインフォーマルサービスを目指します。また、集いの場のきっかけとなるよう、「うたごえ喫茶♪音楽る」として集いの場が少ない地域に出向き行きます。
- ・「ステップ1・2 希望の風」は引き続きみんなの集いの場の支援と地域団体の活動支援を行います。介護予防・生活支援サービス補助事業の取り組みの支援も活動として取り組んでいきます。
- ・高齢者が集まる場同士の交流や、運営継続の支援として老人会・元気づくりステーションをはじめとした高齢者のサロン連絡会を開催します。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・希望が丘南地区においては近くに、商店会やスーパーもなく、場所によってはコンビニもないような地区（善部町むつみエリア）も存在しています。善部町むつみエリアには2つの高齢者住宅があり、一人暮らし高齢者も多い地域です。昨年度老人会でとったアンケートをもとに、今年度、民生委員の協力を得て75歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の買い物状況のアンケートを実施して更なるニーズを調査します。
- ・希望が丘地区の中希望が丘ハイツ自治会は小さな単位自治会ですが、高齢者も多く、集会所の利用がほとんどない状況です。住民から近くで集える場が欲しいという声や、近隣の老人会の方からも心配されている声があることから、担い手や活動状況などさらなる把握に努めます。
- ・認知症カフェや一人暮らし高齢者の食事会、中途障害の方の集いの場など、参加したくてもその場に行けないという方の声が多くなってきています。移動に対しての課題を介護事業所などの地域貢献活動の観点もふまえ、地域の方と話し合う機会を設けます。
- ・希望が丘地区において、高齢者のちょっとした困りごとに関しては、シルバー人材センターやコープのちょいボラにお願いしていますが、ともに人手が足りずに、なかなかサービスに繋がらない現状があります。今年度は民生委員などにも協力を頂きながら、ちょっとした困りごとの把握と課題解決への取り組みのニーズを地域の方とともに考えていきます。
- ・昨年度作成した地域資源一覧を更新していきます。
- ・旭区生活支援コーディネーターで「宅配スーパー・ドラッグストア一覧表」を作成し、インフォーマルサービスとしてケアマネジャーや地域の病院や店舗に配布します。

(3) 連携・協議の場

- ・介護予防・生活支援サービス補助事業のサービスBに取り組む「きぼうカフェ」の支援を行います。介護予防プログラムの担い手としてステップ1・2希望の風や、元気づくりステーションなどで活躍する方にも協力を仰ぎ、地域で活躍する方たちとの連携を図ります。また、地域とのつながりを持つため地域福祉保健計画の取り組みにつながる活動を提案していきます。旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携して立ち上げ支援、運営支援を行います。
- ・希望が丘地区、希望が丘南地区のささえあい連絡会に支援チームとして参加し、地域の方と目指す地域像を共有していきます。
- ・昨年度立ちあげたボランティア団体と地域活動団体をつなげ、ボランティア団体が自主的に活躍できるよう、支援に努めます。
- ・買い物課題、移動課題、生活支援課題など様々な課題について、旭区役所、旭区社会福祉協議会等と連携し、自治会、民生委員、地域住民、地域の事業所などとの協議の場を設けます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区生活支援コーディネーター連絡会による3つの連絡会（食事、ささえあい、サロン）を開催し、課題解決に向けての取り組みを行っていきます。担当のサロン連絡会での今年度の取り組みは昨年度の連絡会で課題があがったプログラムについての課題に注目し、プログラム支援として、サロンの担い手と旭区のボランティア団体のマッチング会を11月に開催します。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・ 個別の相談から見える地域住民や地域における課題を見直し、新しいネットワークの開拓に努めます。
- ・ 相談内容の分析から、自宅で過ごす時間が長い高齢者が多いことが分かり、閉じこもりの防止及びボランティア育成を兼ね立ち上げた「ミニデイサービス（ミディ）」を継続します。
- ・ 介護することへの不安、不満、悩みを解消するために、「介護者の集い」をケアプラザ協力医にも協力していただきながら継続していきます。
- ・ 地域における社会資源の有機的連携を目指し、地域における事業所や医療機関、インフォーマルサービス等の社会資源の実態把握に努めます。また、地域包括支援センター間及び他職種、地域住民と協力しながら社会資源の維持及び構築に取り組んでいき、地域における様々な生活課題に対応できるようにしていきます。

②実態把握

- ・ 各種統計資料等から圏域の情報を収集していくと共に、地域住民の方とのコミュニケーションを大切にし、情報の受け皿として円滑に機能できるようにしていきます。
- ・ 関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握します。
- ・ 講座や自主事業実施後にアンケート調査を実施し、高齢者の個別ニーズ、圏域の実態を把握します。

③総合相談支援

- ・ 地域住民の相談を総合的に受け止め、相談内容を理解し、的確に把握します。
- ・ 相談内容に応じて情報を提供していき、関係機関等に繋がります。
- ・ 相談のみにとどまることなく、必要に応じて継続的にフォローしていきます。
- ・ 相談者の困っていることを受容し、速やかに支援できるように心がけます。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等の担当部署へ繋ぐ等適切な支援を行います。
- ・ 成年後見制度についての普及啓発に取り組みます。
- ・ 区長申立が必要な事例について、アセスメントに基づき、区役所等に繋がります。
- ・ 親族申立支援にあたり、家庭裁判所への手続きや第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスをします。
- ・ 消費者被害の防止に向け、区内地域包括支援センターと協働で街頭キャンペーンを実施し、普及啓発活動に努めると共に、地域での消費者被害に関する情報共有を行っていきます。

- ・権利擁護に関する講座として、自分史についてや遺産相続、エンディングノートの活用等を実施していき、在宅で安心して暮らせる支援をしていきます。

②高齢者虐待への対応

- ・虐待事例に対し、区や専門機関と支援の方向性を共有し、適切な支援に繋がります。
- ・各種機関からの情報収集や啓発活動などにより、予防や早期発見に努めます。
- ・「介護者の集い」を（奇数月に）開催し、介護者支援を通して虐待防止に取り組んでいきます。
- ・区内版高齢者虐待対応フォロー図をケアマネジャーにも周知し、いつでも閲覧できる所に置き活用していきます。
- ・研修の参加を通し、虐待や人権に対しての意識向上を図ります。

③認知症

- ・地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。また、小学生を対象に、夏休みを利用したジュニアボランティア講座を開催し、認知症についての普及啓発を行っています。
- ・認知症カフェの継続的運営を支援していき、認知症の方やその家族の支援と共に、地域住民、関係機関を含めたネットワークづくりにむけた連携を図っていきます。
- ・地域の医療機関との連携や、認知症初期集中支援チームでの連携を通し、認知症の早期発見・早期治療に繋がっていきけるように努めます。
- ・旭区の SOS ネットワークシステムを紹介していき、地域包括支援センターエリア内の徘徊高齢者検索のネットワーク構築に努めます。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービス等の情報収集の更新、整理に努め、地域住民に対し情報提供を行います。
- ・生活支援コーディネーターと連携して「認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）をめざして」プロジェクトで立ち上がった「認知症カフェ」2か所の支援、その他認知症等に関する取り組みを地域住民、関係機関等と連携し行っていきます。
- ・地区の民生委員や見守りの会等に参加し、地域での見守りネットワーク事業に積極的に関わっていきます。
- ・ひとり暮らし高齢者見守り事業を地区の民生委員、区役所と協働し、実態把握に努めていきます。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取り組み（情報交換会等）を行います。
- ・ブロック毎のケアマネジャー事業所連絡会にて、エリア内の医師等を招きケアマネジャーとの連携を目的にネットワーク構築のための取り組みを行います。
- ・エリア内の医療機関を個別に訪問して、顔の見える関係を構築していきます。

- ・医師、地域包括支援センターとの連絡票などを活用して、近隣医師との連携に努めていきます。また、エリア内の医師との連絡会「南希望が丘地域医療連絡会」を継続していきます。
- ・毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携を図っていきます。
- ・施設協力医には「介護者の集い」に参加してもらい、適宜話し合いをもって、連携に努めていきます。

③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーへの以下の支援体制を構築していきます。
 - ① 相談への支援
 - ② 事例検討など研修会等の開催
 - ③ 新任、就労予定ケアマネジャーに対する研修等の実施
 - ④ サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズ
 - ⑤ 支援困難事例、緊急対応時等の支援
 - ⑥ 区ケアマネジャー連絡会への支援
- ・毎月、地域包括支援センターとケアマネジャーとの連絡会、ケースカンファレンス等を開催します。
- ・地域包括支援センターエリア内の連絡会、研修会、交流会を実施します。
- ・4地域包括支援センター（南希望が丘、今宿、万騎が原、二俣川）共催で年4回、研修会、事例検討会を行い、連携を図っていきます。
- ・旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新人、就労予定ケアマネジャー研修を開催、施設見学や個別実習の受け入れ等を行います。
- ・適宜ケアマネジャー相談支援、支援困難事例の相談支援、カンファレンスの開催等を行っていきます。
- ・エリアの民生委員とケアマネジャーとの交流会を継続し、双方の関係づくりの支援を行います。

（４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域の関係機関などの相互の連携を高め、ネットワークを構築していけるよう、地域住民、民生委員、地域の医師、医療・介護関係者など、多職種と協働し、事例を通して個別ケースの支援内容を多角的に検討し、課題解決を支援していけるよう個別ケース地域ケア会議を開催します。
- ・また、個別ケース地域ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの地域課題などを関係者間で共有し検討する、包括圏域地域ケア会議を年2回開催します。

（５）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者の主体性、意欲を引き出し、目的指向型の介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを行います。
- ・委託を行う場合はケアマネジャーとの連携、適切なケアマネジメント支援に対しての関わりを積極的に行います。
- ・地域包括支援センターエリア内、ブロック毎等での研修会や勉強会を実施していきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<p>南希望が丘地域ケアプラザエリア内において把握の難しい、南希望が丘連合に加入されていない善部町の3つのマンションと、平成26年4月に今宿地域ケアプラザよりケアプラザエリアが変更となった東希望が丘の5つの自治会において健康教室・出前講座の開催を予定しています。把握の難しいエリアを回るにより、ケアプラザの周知と介護予防の基礎知識や社会参加が介護予防・健康づくりに効果的であることを学び健康への意識を高めていただくことを目的とします。</p> <p>善部町のマンションにおいて、出張講座を全4回コースで実施します。計測を実施しご自身の健康度を認識していただき、ロコモ予防の教室を実施します。</p> <p>ケアプラザにおいて、姿勢改善・元気に歩こう教室を開催します。ご自身の姿勢を知るとともに、いつまでも元気に歩ける姿勢と運動、フットケアの仕方を学んでいただきます。</p> <p>認知症予防について普及啓発の目的で、認知症予防の講演会とコグニサイズの教室を開催します。認知症の方の理解と予防としてのコグニサイズを実施し、認知症予防と認知症になっても安心して暮らせる街を目指します。</p> <p>元気づくりステーション「中の原」(仮)の立ち上げに向けて、準備講座を4回コースで開催します。中の原の老人会が休止中のため、介護予防としての活動の場を目指します。</p> <p>既存の元気づくりステーション「南希の森」「ヒルズのわ」「ホープの友」3ヶ所の活動支援の継続および、シニアサポーターひまわりのボランティアとしてのスキルアップのための学習支援や活動支援を実施します。</p>

その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 横浜市指定管理者として公の施設を適正に管理いたします。
- ・ 施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただけるように利用者に丁寧に説明にあたります。
- ・ 設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者により実施いたします。
- ・ 設備の一部に関しては専門の業者と保守管理契約を結び適切な管理を行います。
- ・ 植栽の管理については専門の業者と保守管理契約を結び緑の維持、管理を行います。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 法人内のメールシステムを活用し、情報の伝達、帳票類の管理が正確かつ適正に行われるように致します。
- ・ 労務、経理の事務処理については法人本部担当職員と連携をとり業務の効率化に努めます。
- ・ 光熱水費の節約に努め無駄なエネルギーの削減に努めます。

ウ 苦情受付体制について

- ・ ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示致します。
- ・ 苦情解決の担当、解決責任者、対応の流れを明確にして館内に掲示致します。
- ・ 第三者委員会の設置を明確にして館内に掲示致します。
- ・ 利用者アンケートや、登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞などにより広く利用者や地域住民に周知いたします。
- ・ 苦情などを申し立てたことにより、個人またはその団体に不利益な取り扱いは一切致しません。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 緊急時マニュアル、防犯マニュアルを整備し、緊急時の連絡先を事務所内に掲示致します。
- ・ 機械警備により24時間の防犯体制をとります。開館、閉館時間の記録を残します。
- ・ 機械警備のセキュリティキーは管理台帳で管理者を明確にし管理致します。
- ・ 来館される方に適宜挨拶、お声掛けを行い館内の様子を把握するように努めます。
- ・ 朝礼時に館の一日の使用予定を職員間で共有し、館内の動きを把握します。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日常設備点検、車両点検を実施し整備不良による事故を防ぎます。
- ・ 事故並びにリスクの高いと思われる事柄については法人内リスクマネジメント委員会にて情報を共有し職員に周知します。
- ・ 職員の労働安全衛生、健康管理（メンタルヘルス含む）への啓発に努め事故防止に努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 内部研修にて個人情報保護の研修を行います。
- ・ 個人情報取扱業務一覧に基づき、適切に個人情報の取り扱いをいたします。
- ・ 介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には個人情報の使用に関して説明し同意を得てサービスの提供をいたします。

キ 情報公開への取組について

- ・ 法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置致します。
- ・ 毎月の広報誌、掲示板を利用し新たな事業情報を公開致します。また、横浜市からの掲示依頼物については速やかに館内掲示板に掲示致します。
- ・ 市民からの情報公開請求については、横浜市南希望が丘地域ケアプラザ情報公開規程に基づき適切に対応致します。
- ・ 介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用に関する記録の開示請求に関して契約書に則り対応致します。

ク 人権啓発への取組について

- ・ ケアプラザ職員対象に「人権擁護」のテーマで内部研修を実施いたします。
- ・ 地域の住民の方を対象に「消費者被害」など具体的なテーマを定め人権啓発の講座を開催します。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ ごみの処分に関してはヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿ってゴミの処分を致します。
- ・ 古紙はリサイクルに出し資源の再生に努めます。
- ・ スマートクロックを使用することにより消費電力の可視化をし無駄な電力の削減に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標》

- ・要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成します。
- ・今後の介護予防事業の動向を踏まえ、新たな視点から、自立支援に向けたケアプランの作成を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案、サービス提供が行えるように支援体制を強化します。介護予防サービスが円滑に提供できるよう、関係機関やインフォーマル活動団体の把握や関係づくりを行っていきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
188	190	193	197	199	200
10月	11月	12月	1月	2月	3月
201	202	204	207	211	214

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名（常勤兼務）
介護支援専門員 4 名（常勤兼務 1 名、常勤専従 3 名）

《目標》

ケアプラザ併設の居宅介護支援事業所として、地域の方の心の支えとなり頼れる事業所を目指します。地域の多様化するニーズに寄り添い、一人一人が自立して生活できる社会づくりに貢献していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する場合には交通費を徴収します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域包括支援センターとのカンファレンスを月に 1 回実施し情報共有を行うことで、困難事例の支援や地域のボランティア等の社会資源の情報共有を行っていきます。
- ・地域で行われる認知症カフェや、ケアマネジャー連絡会に参加し、医療・介護・地域との繋がりを深め、ケアマネジメントを通じ地域貢献を目指します。
- ・研修や勉強会に積極的に参加し、ケアマネジャーそれぞれの資質向上を図り、適正なケアマネジメントが行えるよう努めていきます。
- ・リスクマネジメント（個人情報保護・苦情対応・接遇）についての意識を強化し、事故や苦情の未然防止を目指します。
- ・定期的なケースチェックを行い、帳票類の整備をし、コンプライアンスの徹底をします。また公正中立を踏まえたサービス提供を行っていきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予防 28 介護 135	予防 30 介護 136	予防 32 介護 137	予防 34 介護 138	予防 36 介護 139	予防 38 介護 140
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
予防 40 介護 141	予防 42 介護 142	予防 44 介護 143	予防 46 介護 144	予防 48 介護 145	予防 50 介護 145

● 通所介護・認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

-

-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,516,000		18,516,000	18,516,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,516,000	0	18,516,000	18,516,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,403,000		10,403,000	0	10,403,000	
本俸	8,100,000		8,100,000	0	8,100,000	
社会保険料	800,000		800,000	0	800,000	
手当計	1,403,000		1,403,000	0	1,403,000	
健康診断費			0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふりしど
退職給付引当金繰入額	20,000		20,000	0	20,000	
その他	80,000		80,000	0	80,000	
事務費	2,568,860		2,568,860	0	2,568,860	
旅費	35,000		35,000	0	35,000	
消耗品費	200,000		200,000	0	200,000	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	0	60,000	
通信費	600,000		600,000	0	600,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	600,000		600,000	0	600,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	0	30,000	
職員等研修費	30,000		30,000	0	30,000	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	30,000		30,000	0	30,000	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	963,860		963,860	0	963,860	
事業費	912,000		912,000	0	870,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	870,000		870,000	0	870,000	
管理費	3,799,900		3,799,900	0	2,229,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,570,900		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	700,000		700,000	0	700,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	0		0	0	0	
設備保全費	1,055,000		1,055,000	0	1,055,000	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	0	65,000	
消防設備保守	200,000		200,000	0	200,000	
電気設備保守	500,000		500,000	0	500,000	
害虫駆除清掃保守	90,000		90,000	0	90,000	
駐車場設備保全費	200,000		200,000	0	200,000	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	832,240	0	832,240	0	832,240	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	832,240		832,240	0	832,240	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,516,000	0	18,516,000	0	16,903,100	
差引	0	0	0	18,516,000	△ 16,903,100	

自主事業費収入	870,000		870,000	0	870,000	
自主事業費支出	870,000		870,000	0	870,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,344,000		23,344,000		23,344,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当事業)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,156,000		1,156,000	1,156,000	0	
収入合計	30,440,000	0	30,440,000	1,156,000	29,284,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,835,000	0	26,835,000	0	26,835,000	
本俸	18,935,000		18,935,000		18,935,000	
社会保険料	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
手当計	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000		200,000	
その他	200,000		200,000		200,000	
事務費	1,399,900	0	1,399,900	0	1,399,900	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	60,000		60,000		60,000	
会議随時費	0		0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	30,000		30,000		30,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	959,900		959,900		959,900	
事業費	1,195,000	0	1,195,000	0	1,195,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	105,000		105,000		105,000	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,010,100	0	1,010,100	0	1,010,100	
建築物・建築設備点検	60,000		60,000		60,000	予算:指定額
光熱水費	664,100	0	664,100		664,100	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	60,000		60,000		60,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	100,000	0	100,000	0	100,000	
空調衛生設備保守	10,000		10,000		10,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	40,000		40,000		40,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	20,000		20,000		20,000	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他			0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	30,440,000	0	30,440,000	0	30,440,000	
差引	0	0	0	1,156,000	△ 1,156,000	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,400,000		4,400,000	21,971,000		21,971,000			0			0
	その他	0	0	0	529,000	0	529,000	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0	529,000		529,000			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	収入合計(A)	4,400,000	0	4,400,000	22,500,000		22,500,000	0		0	0	0	0
支出	人件費			0	20,659,000		20,659,000			0			0
	事務費	200,000		200,000	1,056,000		1,056,000			0			0
	事業費			0	181,000		181,000			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	支出合計(B)	200,000	0	200,000	21,896,000	0	21,896,000	0	0	0	0	0	0
	収支 (A)-(B)	4,200,000	0	4,200,000	604,000	0	604,000	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
Dandy Kitchen ～ふれあい 子ども食堂～	主に小学生	266,800	地活	212,800	54,000	0	10,000	210,000	46,800
	45人		包括						
	100円(大人400円～)		生活						
歌声喫茶	地域住民	106,540	地活	5,040	101,500	0	93,540	5,000	8,000
	80人		包括						
	100円		生活						
ふらっとサロン	地域住民	150,000	地活	81,000	69,000	0	0	138,000	12,000
	15人		包括						
	200円程度		生活						
ゆったり体操教室	高齢者	156,504	地活	12,504	144,000	0	133,064	0	23,440
	15人		包括						
	400円		生活						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	37,600	地活	27,600	10,000	0	12,000	10,000	15,600
	10組		包括						
	100円		生活						
登録団体説明会	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括						
	無料		生活						
ボランティアの集い	ポランティア	20,000	地活	10,000	0	0	0	0	10,000
	20人		包括						
	無料		生活	10,000					
みんなで大掃除会	登録団体	4,400	地活	4,400	0	0	0	3,000	1,400
	30人		包括						
	無料		生活						
ケアプラザ祭り	地域住民	151,000	地活	91,000	60,000	0	10,000	131,000	10,000
	200人		包括						
	300円程度		生活						
よこはまシニア ボランティア ポイント登録研修会	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括						
	無料		生活						
さわやか クローバークラブ	障害児者	36,120	地活	30,120	6,000	0	0	10,000	26,120
	10人		包括						
	300円		生活						
親子のフリースペース	未就園児の親子	11,720	地活	11,720	0	0	0	0	11,720
	10組		包括						
	無料		生活						
みんなのフリースペース	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括						
	無料		生活						
障害理解講座	地域住民	25,000	地活	25,000	0	0	25,000	0	0
	30人		包括						
	無料		生活						
スイートピーくらぶ	精神障害の女性	23,120	地活	22,120	1,000	0	5,000	12,000	6,120
	5人		包括						
	100円～300円程度		生活						
きぼうファーム (収支はきぼうファームで管理)	障害児者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	12人		包括						
	300円		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
出張講座 健やか健康教室 ～明日のために～ 全7回	高齢者	67,240	地活	0		56,000	2,240	9,000	
	20名		包括						67,240
	無料		生活						
GOGO健康！ 姿勢改善・元気に歩こう教室	高齢者	21,450	地活	0		20,000	700	750	
	30人		包括						21,450
	無料		生活						
出張講座 生き生き健康教室 ・with 全4回	高齢者	25,920	地活	0		20,000	3,920	2,000	
	20人		包括						25,920
	無料		生活						
(仮) 元気づくりステーション 「中の原」 準備講座	高齢者	25,120	地活	0		20,000	3,360	1,760	
	30人		包括						25,120
	無料		生活						
認知症予防講演会	高齢者	29,810	地活	0		28,500	560	750	
	30人		包括						29,810
	無料		生活						
ミ・ディ	地域住民	57,000	地活	37,400	0	2,000	47,000	3,000	
	20人		包括						14,600
	200円		生活						5,000
介護者の集い	地域住民	5,000	地活	0	0	0	5,000	0	
	10人		包括						5,000
	無料		生活						
介護保険講座 ～2018～	地域住民	5,000	地活	0	0	5,000	0	0	
	50人		包括						5,000
	無料		生活						
認知症サポーター養成講座	地域住民	2,000	地活	0	0	0	0	2,000	
	50人		包括						2,000
	無料		生活						
旭区版エンディングノート活用講座	地域住民	10,000	地活	0	0	10,000	0	0	
	50人		包括						10,000
	無料		生活						
権利擁護講座「自分史講座」	地域住民	10,000	地活	0	0	10,000	0	0	
	30人		包括						10,000
	無料		生活						
権利擁護講座「遺産と相続」	地域住民	10,000	地活	0	0	10,000	0	0	
	30人		包括						10,000
	無料		生活						
きぼうタウンプロジェクト	地域住民	8,000	地活	0	0	3,000	4,000	1,000	
	20人		包括						
	無料		生活						8,000
サロン連絡会	地域住民	3,000	地活	0	0	0	3,000	0	
	30人		包括						
	無料		生活						3,000
外出支援 ・買い物支援(仮)	地域住民	10,000	地活	0	0	0	10,000	0	
	15人		包括						
	無料		生活						10,000
ステップ1・2希望の風	地域住民	37,000	地活	0	0	0	35,000	2,000	
	12人		包括						
	無料		生活						37,000
ミュージックボランティア 音楽る	地域住民	35,000	地活	0	0	0	30,000	5,000	
	18人		包括						
	無料		生活						35,000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うたごえカフェα (年3回)	地域住民	15,000	地活	6,000	9,000	0	0	10,000	5,000
	30人		包括						
	100円		生活						
シニアサポーターひまわり	地域住民	6,500	地活	2,500	0	0	0	2,000	500
	7人		包括						
	無料		生活						
みんなの集いの場(仮)	地域住民	80,000	地活	8,000	72,000	0	0	60,000	20,000
	30人		包括						
	200円		生活						
元気づくりステーション 南希の森 ヒルズのわ ホープの友支援	地域住民	1,000	地活	1,000	0	0	0	0	1,000
	50人		包括						
	無料		生活						
認知症&予防カフェ みなとの茶店 きっさブルメリア支援	地域住民	10,000	地活	10,000	0	0	0	4,000	6,000
	50人		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Dandy Kitchen ふれあい 子ども食堂	主に小学生を対象に、子どもの居場所支援、孤食支援、学習支援、地域の大人との顔の見える関係づくりを目的に開催します。またボランティア活動の支援を行い、子ども支援における担い手づくりを行います。16時から17時30分までは、フリータイムとし、地域のボランティアによる学習支援や、学校や年齢を超えた子どもたちの交流の支援を行います。17時30分より食事の提供を行います。夏休みなどの長期休暇時は、昼間に開催し、自由研究などの宿題のお手伝いを行います。	毎月第2木曜日 16時～ 18時30分 長期休暇時 9時～17時 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催します。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していただけるよう事業を進めていきます。	第1土曜日 10時～12時 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。ケアプラザ新聞やチラシ等で周知を行います。小さいお子さん連れや、障害のある方にも参加していただけるよう事業を実施します。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とした体操教室を開催します。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分を行います。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催します。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。季節に応じたイベントや行政との共催事業なども行います。また地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行います。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸室の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行います。また会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。	3月26日 年1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザで活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行います。またデイサービスや生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。今年度は生活支援コーディネーターと共催で実施します。	日程未定 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで大掃除会	貸館で利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をしていただきます。また清掃終了後に意見交換会を行い、利用についての意見交換が出来る場を作ります。調理室を利用している団体には、6月にも大掃除をしていただきます。	6月18日 12月28日 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催します。子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。ボランティア活動の場の提供も行います。	10月27日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の方を対象に、よこはまボランティアポイントの登録研修会を開催します。ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始め方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行い、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを行います。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかクローバークラブ	障害児者の余暇支援の場と、地域の方との繋がりづくり、障害児者支援にかかわる担い手の育成を目的として実施します。夏休み期間には、地域活動ホームサポートセンターと共催で外出プログラムを実施します。	5月6日 8月21日 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のフリースペース	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的として実施します。親子のフリースペースとして多目的室を開放し、大型玩具や知育玩具を用意して、参加費無料で自由に利用していただけるように実施します。	毎月第3月曜日 10時～ 11時30分 年12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなのフリースペース	夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方々の居場所支援、中学生や高校生の学習する場や居場所の提供を目的として実施します。地域ケアルームは勉強スペースとして、ボランティアルームは一般の方のフリースペースとして場所を提供します。	毎月4日程度 不定期 18時～20時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害理解講座	障害理解・啓発を目的として、地域住民を対象に障害理解講座を開催します。今年度は精神障害の理解をテーマに、障害特性とかかわり方について講師の方にお話をさせていただきます。	6月1日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スイートピーくらぶ	精神障害のある女性を対象に、同じ精神障害を持っている人同士の交流と、居場所支援を目的としてサロンを開催します。参加者の生活課題の解決に繋がるよう、茶話会その他、冷凍食品やお惣菜をアレンジした簡単調理教室や、ヨガなどの軽い運動のプログラム等を実施します。	奇数月 第2土曜日 13時～ 14時30分

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取り組みの一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的として開催します。障害児者余暇支援事業として、10月にさつまいもの収穫祭、1月にわくわくスポーツかいを実施し、ケアプラザは事業開催の後方支援を行います。	年2回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座 健やか健康教室 ～明日のために～	南希望が丘地域ケアプラザエリア内において把握の難しい南希望が丘連合に加入されていない善部町の3つのマンションと平成26年4月に今宿地域ケアプラザよりケアプラザエリア変更となった東希望が丘の5つの自治会において、健康教室・出前講座を開催します。ケアプラザの周知と介護予防の基礎知識や社会参加が介護予防・健康づくりに効果的であることを学び健康への意識を高めていただくことを目的とします。	不定期 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康！ 姿勢改善・元気に歩こう教室	まず、姿勢を計測することでご自身の姿勢を意識していただきます。その上で傾きを改善する運動を学んでいただき、いつまでも元気に歩ける姿勢とフットケアの仕方を学んでいただきます。	5月16日 年1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座 生き生き健康教室・with	地域の会場を借り、出張講座を実施します。計測を実施しご自身の健康度を認識していただきロコモ予防教室を開催し、日頃の生活に取り入れていただけるよう取り組みます。時期は自治会の方と相談の上これから決めます。	秋頃 隔週・全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(仮) 元気づくりステーション「中の原」準備講座	(仮) 元気づくりステーション「中の原」の立ち上げに向けて準備講座を開催します。中の原の老人会が休止中のため、介護予防の活動の場を目指します。	11月中旬より 隔週・全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防講演会	認知症予防について普及啓発の目的で、認知症予防の講演会とコグニサイズの教室を開催します。認知症の方の理解と予防としてのコグニサイズを実施し、認知症予防と認知症になっても安心して暮らせる街を目指します。	11月初旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミ・ディ	月に1回の事業に参加することにより、高齢者の方の閉じこもりを防止し、仲間づくりの場所として提供していきます。また、ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会など、介護予防の要素も盛り込んでいきます。5月にはお花見と外食を兼ね、市の緑化フェアで話題のみなどエリア山下公園散策も企画し、毎回、お茶とお菓子を楽しみながら交流を深めていきます。	第2月曜日 10時～11時半 月1回（年11回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	地域の介護者を対象に、施設協力医岡田先生からのアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、気分転換を図る場を提供していきます。介護に役立つ情報なども提供し、日頃の介護の悩みや疲れを共有していける場となることを目指します。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月（年6回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護保険講座～2018～	介護保険制度について、地域住民に対し、広く周知させることを目的とします。介護保険制度の背景や、仕組みと概要、改正後に何が変わったのか、また、今後の動向について、わかりやすく「介護保険制度」について講座を行います。	7月以降予定 1回もしくは複数回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症についてのよき理解者となる認知症サポーターを養成することを目的として、普及啓発していきます。	年2回予定 9月・12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区エンディングノート活用講座	旭区版エンディングノートの活用方法を学ぶことを通し、これまでの生活を振り返りながら、これからの人生をより豊かに過ごせるようにしていきます。	年3回シリーズで1月・2月・3月に実施。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座「自分史講座」	自分自身の過去について、マッピング技法を用いて学ぶことで、未来の目標が見え、前向きに過ごしていけるようにします。	年1回 9月実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座「遺産と相続」	相続の問題について、遺言書の作成や成年後見制度の説明も交えながら法制度を学び、自分や遺産・家族を守り、これからの人生に生かしていけるようにします。	年1回 11月実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうタウンプロジェクト	一昨年度「認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）を目指して」をテーマに3回の勉強会とグループワークから立ち上がった「きぼうタウンプロジェクト」。昨年度、認知症の方やその家族に対し地域で何ができるかを月1回集まり話し合い、第一弾の取組として認知症カフェを地域に2か所設立。今年度も引き続き、プロジェクトチームで集まり、カフェ運営の取組と、第二弾の取組として「出張 認知症サポーター養成講座」を開催し、プロジェクトメンバーと共に地域への啓発活動を行い、ささえあいの活動を推進します。	第4水曜日 14時～16時 2か月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン連絡会	昨年度に引き続き、エリア内にある老人会や元気づくりステーション等高齢者の集いの場を運営する団体同士の横の繋がりや交流を目的とし、運営の課題解決やヒントを得られるよう連絡会を行います。また、会運営のプログラム支援として地域で活躍するレクリエーションや運動、音楽などを行う団体との交流を目的とし、運営団体が地域の資源として活用できるよう連絡会を通じ推進していきます。	南希望が丘地域ケアプラザエリア内 年2回 旭区エリア内 (旭区社協・生活支援CO共催) 年2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
外出支援 ・買い物支援 (仮)	集いの場に出向くことや買い物などの外出が困難になってしまった方達が増えつつあるというお話をお聞きします。そのような方達が少しでも外出できる機会を増やすことができないか、地域で何かできる事はないかを、地域の方や地域にある企業や事業所などの方達などと話し合う機会（協議体）を設置します。	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ステップ1・2希望 の風	昨年度、スクエアステップリーダー講座を受けた方の中から地域へ向け、スクエアステップ（介護予防・認知症予防）の啓発を担うボランティア団体を立ち上げました。老人会や自治会など地域の集いの場での啓発活動と、昨年度2月より開設した「みんなの集いの場」の活動の場の提供と、担い手としてより一層活躍できるように、ミーティングや勉強会を開催し、活動の支援を行います。	●ミーティング 不定期 (2か月に1回) ●活動 毎月第2・4火曜日 14時～16時 他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックボラ ンティア 音楽る	昨年度、ミュージックボランティア講座を受けた方の中から、高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的とした活動を行う団体ミュージックボランティア「音楽る」を立ち上げました。老人会やサロン、地域のデイサービス、また認知症カフェなどでの活躍の場の提供を引き続き行います。また、今年度は「移動する歌声喫茶（仮）」を開催し、介護予防の要素も取り入れていく予定です。外出することが困難な方の家に訪問し、一緒に歌を歌うなどの個別支援も目指していきます。	●ミーティング 毎月第1月曜日 14時～ ●活動 月4回程度

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアサポ ーターひまわり	平成25年度より立ち上がったシニアサポーターひまわりの活動支援を今年度も行います。月1回の定例会や勉強会を行い、自主的に介護予防啓発活動が進められるよう支援します。また、今年度、ケアプラザ外で行う介護予防事業で、担い手として活躍できる場の提供を行います。	●定例会 毎月第3木曜日 10時～ ●活動 月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの集いの 場(仮)	昨年度2月より、中希望が丘のめぐみ幼稚園にて、おいしいコーヒーを飲み、簡単な運動（スクエアステップ）ができ、誰もが参加できる「みんなの集いの場」を立ち上げました。ステップ1・2希望の風、コーヒーボランティア、地域包括支援センター、地域活動交流と連携して運営を行います。地域の方が気軽に立ち寄り、地域に根付く場となるよう、自主化に向けた活動を目指します。	毎月第2・4火曜日 14時～16時 めぐみ幼稚園 地下1階集会所

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステー ション 南希の森 ヒルズのわ ホープの友 支援	エリア内で立ち上がっている3つの元気づくりステーションが円滑に活動できるように、引き続き支援を行います。	各元気づくりス テーション 月1回程度

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症&予防カフェ みなとの茶店 きっさプルメリア 支援	昨年度「きぼうタウンプロジェクト」の取り組みとして立ち上がった2か所の認知症&予防カフェ「みなとの茶店」と「きっさプルメリア」の運営支援、活動支援を引き続き行います。	みなとの茶店 毎月第1水曜日 きっさプルメリア 毎月第3土曜日 ともに 14時～15時半